

## 令和6年度事業報告書

特定非営利活動法人DOG DUCA

### 1 事業の実施の概略

特定非営利活動法人DOG DUCAは、愛知県内の名古屋市を中心に地域社会に対して犬の保護と里親探し、人と犬との共存生活に関する事業を行い、衛生問題や飼育拒否等の問題の改善や解決を図り、犬を飼う方のモラルの向上と、人と犬のより良い共存生活の増進に寄与することを目的とし、次の事業を実施した。具体的には、本法人の定款第5条第1項第1②の事業として、犬の保護と里親探し事業及び第1号③の事業として、犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業を実施した。

### 2. 事業の成果

今年度も、日本の高齢化社会に伴い高齢者の飼育継続困難による飼育拒否が増加しました。それに伴い高齢犬の保護が増加傾向にありました。

2019年10月からスタートした「シニアドッグサポーター制度」は、高齢者と高齢犬が支え合うシステムとなっており、東海テレビ・CBCテレビ・NHK・TBS・日テレなど多くのメディアに取り上げていただきました。大変良い取り組みだと多くの反響をいただいておりますが犬と支え合いたいというサポーターさんより「引き取って欲しい」という飼育拒否の問い合わせの方が上回っています。

同時に12歳を超える保護犬が増え、病気・継続治療が必要な保護が増加しています。結果的にシニアドッグサポーターにてお願いすることが出来ない子が増え現在40頭の保護犬が居ます。

現在、シニアドッグサポーター制度を大きく行なっているところがDOGDUCAなので引き取り相談も集中していますが、他団体も行えるよう問題点や改善点を提案しながら全国的に高齢犬も救われる動物愛護にしていけることがDOGDUCAの課題の1つになっていると思います。

JAC環境動物愛護財団様からの助成金によってシニアドッグサポーターのパンフレットを作製し社会福祉協議会で講演を行ったり高齢者施設にパンフレットの配布を行ったりしました。

適切なトレーニング方法や正しい飼育知識の啓蒙活動においては、もりやま犬と猫の病院様で毎月一度10組定員の「育て方教室」を行ないました。参加件数は、毎月10組、年間120組でした。知識不足や間違った接し方が原因になっているケースも多く、個々にしっかりと人と犬とのより良い関係性を築き互いに幸せになるためのアドバイスをさせていただき、動物愛護・動物福祉に取り組みました。

物価高により治療費・フード・トイレシート等の消耗品など全ての物が値上がりしており運営も厳しいものになってきています。ご支援が大きな支えとなっております。活動継続の為、活動支援に関する周知のご協力とご寄付のご協力をお願いいたします。

毎年恒例の「生命の授業」の依頼も増えてきています。

小学4年生には「ドッグトレーナーとは？」という職業についての授業もキャリアナビゲーターさんからの依頼により増えました。

犬の飼育拒否を含めた相談が92件。そのうち、2件は16頭と25頭の多頭飼育崩壊でした。現在既に保護をしている病気・高齢の子たちの事も踏まえ多頭飼育のうち数頭は他団体さんのご協力を得ました。DOG DUCAでは61頭を保護しました。51件は、個々に抱える問題解決のアドバイスや個別の教室などにより飼い主の意識改善によって飼育拒否をすることのないよう努めました。

里親さん(新しい家族)には、13頭、シニアドッグサポーターさんが決まり共に支え合っている子は7頭になりました。高齢・病気で亡くなった子は9頭でした。DUCAへ辿り着いた子たちが、どんな過去があってもDUCAで1からスタートし、幸せになれるようスタッフ一同最善を尽くしたいと思っています。

子ども食堂DUCAを毎月1度、子ども食堂を開催しました。子どもたちが困った時に、駆け込める居場所の1つになることと、地域の者たちが地域の子ども達を守ることを目的として開催しています。夏は、大変な暑さとなり食中毒対策の為にも、パンドリーが多くなりました。夏には毎年恒例の「流しそうめん」を木曾駒様のご協力の元行いました。

名古屋市と愛知県、キューピー様からの助成金30万円、ナヴィのパン屋様とフードバンク愛知様からの物資支援にて行ないました。毎月100名～150名程の子どもたちが参加してくれました。

ビジネスではなく真の愛護の国になることを願います。その為にDUCAが出来ることを今後も続けてまいります。

### 3 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ア 犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業

###### (ア) 事業内容

犬の適正なしつけ指導を通じて、地域社会でのマナーやモラル向上を深めるとともに、飼育拒否等の問題の現況、解決に向けた犬と人とのより良い共存生活講座を、もりやま犬と猫の病院において、一般市民を対象に無料で開催した。

###### (イ) 開催日時

もりやま犬と猫の病院開催・・・令和6年1月1日～令和6年12月31日の内、毎月約1回で年間12回

###### (ウ) 会場

もりやま犬と猫の病院

###### (エ) 講師及び従事者

講師高橋忍(本法人の理事)、会場設営・受付要員1名(DOG DUCA職員)

###### (オ) 受講者

120組の家族(犬の飼育拒否や犬の地域社会問題に関心を持ちそのモラル向上と普及及び啓蒙活動に関心のある一般市民)及び犬

###### (カ) 費用

232,200円

(内訳)

資料コピー代112,200円、講師及び会場設営・受付要員旅費(延べ48名)120,000円

(キ) 収益

0円

#### イ 子どもの居場所づくり事業

(ア) 事業内容

地域のこどもたちを対象に子ども食堂を開く事業

(イ) 開催日時

令和6年1月1日～令和6年12月31日の内、毎月約1回で年間12回

(ウ) 会場

DOG DUCA事務所

(エ) 講師及び従事者

高橋忍(本法人の理事)、DOG DUCA職員、ボランティア

(オ) 参加者

地域の子供たち

(カ) 費用

367,551円

(内訳)

食材一式代327,848円、チラシ印刷代22,752円、消耗費7,051円、雑費9,900円

(キ) 収益

300,000円

#### ウ 犬の保護と里親探し事業

(ア) 事業内容

捨てられて殺処分される犬を保護して預かり、地域社会を通じてその現状を発信することにより新しい里親を探し、人と犬とのより良い共存生活が可能となる社会を再構築する手助け事業を、経常的に無料で行った。

(イ) 開催日時

令和6年1月1日～令和6年12月31日まで常時

(保護犬が里親へもらわれていくまで)・・・相談数92件、里親への譲渡頭数13頭、シニアサポーターさんと共に支えている犬7頭、

(ウ) 会場

DOG DUCA事務所及び高橋忍(本法人の理事)自宅、里親預り会員各自宅

(エ) 講師及び従事者

高橋忍(本法人の理事)、DOG DUCA職員、里親預り会員のべ80名

(オ) 対象犬

相談・保護された犬61頭

(カ) 費用

8,498,065円

(内訳)

資料コピー代112,200円、動物病院代(年間)3,107,637円、ドッグフード代(年間)1,195,921円、ボランティア謝礼費1,115,022円、消耗品費1,543,551円、旅費交通費185,500円、謝礼金432,580円、雑費805,654円

(キ) 収益

0円

- ③ 会議の開催に関する事項  
令和6年3月22日 社員総会